

第 2500 回例会

逗子ロータリークラブ Weekly Report

2013-2014 NO. 14 2013年10月10日

本日の進行 (12:30)
肥田 美代子 氏
「活字と文化」
一回のお知らせ—
10月17日 (18:30)
葉山 RC・逗子 RC
合同例会

会 長◆石田 隆
会長I外◆藤吉一哉
副会長◆村松邦彦
橋 克巳
幹 事◆岡本 久
S A A◆福嶋謙之輔
会 計◆市川 浩
直前会長◆岩瀬浩人
会報委員長◇宝子山泰久

例会日: 第1・2・4 木曜日 12:30
第3 木曜日 18:30
第5 木曜日 18:00
例会場: 「カンティーナ」
逗子市新宿 1-3-35
TEL: 046-870-6440
事務所: 逗子市逗子 1-9-26
萬屋ビル 2F
TEL & FAX: 046-873-0226



E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp

Website: <http://www.zushi-rc.com/>

「Let's realize Rotary !!」

— 2499回 例会記録

2013年10月3日 —



石田会長の時間

10月は職業奉仕月間です。

職業奉仕とは? 考えてみたいと思います。

ロータリークラブが掲げる職業奉仕とは、ポール・ハリスを助けてロータリーの基礎を確立した3賢の1人として、有名なアーサー・フレデリック・シェルドンが1921年スコットランド国際大会で提唱した彼の職業に対する考え方をそのままロータリーが受け入れ、今日に引き継がれている他の奉仕団体とは異なった独自の奉仕理念です。

我々職業人が自らの事業の継続的な発展を願うことは当然です。企業経営によって利益を得ることも当然であり、決して卑しいことではありません。しかし合法的でない方法や道徳的でない方法や、他人から批判を浴びるような方法で一時的に大きな利益をあげたとしても、それは長続きするものではありません。シェルドンは自らの事業を継続的に発展させるための学問的な企業経営の理念と実践方法を考え出して、それを国際ロータリーの職業奉仕理念として提唱したのです。

職業奉仕理念

自らが儲けるために職業に就いているという考えは捨てて、顧客の満足度を最優先しつつ、自らの職業を通じて他人に奉仕をするという考えで事業を営めば、その真摯な態度が顧客の心を捉えて、リピーターとして何度も事業所を訪れてくれることでしょう。そしてその様な事業所は、新規の顧客を紹介して頂ける機会にも恵まれるはずで

その結果大きな利潤が得られるとともに、その事業所は継続的に発展していきます。このような事業所は結果として高い職業倫理を持っているはずで

職業奉仕は職業倫理を高揚することではなく、職業奉仕の実践が結果として高い職業倫理につながるのです。

そしてロータリーで度々聞く標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」もシェルドンが創作した標語です。

シェルドンの職業奉仕理念、職業人にとってはあたり前の事だと思いますが、つい忘れがちな基本中の基本、仕事に対する姿勢だと思えます。

是非今後の職業奉仕に役立てて頂ければと思います。

10月理事会報告

- ◇ ビーチバレー大会: カレーを提供、益金は東日本大震災義捐金に。予算60万円。参加は40チームの予定
- ◇ 10/17 葉山 RC・逗子 RC 合同例会: 昼ゴルフ 例会食事はbuffetスタイル、卓話なし。合同懇親会は哉吉で。
- ◇ 10/20 逗子市民まつり: 「ぼちぼちいこカー」メンバーが手伝いに来る。
- ◇ 10/26・27 地区大会: 27日藤沢市民会館受付前に12時各自集合、写真撮影。
- ◇ その他: 10月よりジャケット・ネクタイ着用。
- ◇ 葉山 RC よりフレンドリーミーティングの案内。

10月6日 第10回ビーチバレーボール大会開催

競技参加者は一般24チーム、中学男女15チームの計156名。哉吉カレーの提供によるチャリティーを実施、BOXには24,140円の浄財。写真は男女プロと逗子 RC 会員。今回はデフ(聴覚障害者)選手も特別参加。我が逗子 RC から急遽2チームが参加、両チームとも一回戦で敗退、残念! 来年へのリベンジを誓う。



【出席報告】 会員数 48 名 出席数 29 名 : 出席率 64.44%



【プロフィール】

昭和 18 年 横須賀に生れ 鎌倉育ち
 昭和 40 年 早稲田大学卒
 昭和 40 年 株式会社駿河銀行入社
 昭和 44 年 株式会社松屋入社
 昭和 54 年 専務取締役就任
 平成 10 年 代表取締役社長に就任
 平成 22 年 代表取締役会長に就任

＜私の履歴書＞

- 大学時代は学生運動が盛ん。国会周辺のデモに参加し貴重な体験をする。
- 銀行を中途退職し、総合衣料店である父の家業を継ぐ。財務内容が非常に悪く、数年間は大変苦勞をしたが、それがその後の経営に役立つ。
- 平成10年社長に就任した頃には、横浜駅周辺やみなとみらい等の商業施設が更に拡大し、横浜への消費流出が増々顕著に。次の時代に対応出来る新たな戦略の必要に迫られる。
- 平成20年、創業の原点に戻り、きもの専門のビルにリニューアル。
- 逗子、葉山、鎌倉のマーケットはクオリティーが高い。「和の文化」への理解度、関心度が突出している地域特性を生かした新たなきものビジネスをスタートする。
- 3年前に息子に社長を譲る。きものビルをオープンして5年目になるが、業績は比較的順調に推移。アナログ人間でITは苦手。持病の肺気腫が徐々に進行しているため更なる健康管理が必要に。

＜きもの業界の現状＞

- 昭和40年代、約2兆5千億円あったきものマーケ

ットが現在5千億円まで縮小。

- 国内の生糸生産も全体の僅か1%に。99%を輸入に頼る。きものや帯の生産、仕立も一部海外の工場です。円安が業界にとって厳しいアゲインストとなる。
- 職人の減少を補うためコンピューター織機や白生地にプリントするインクジェット等の新しい生産手段が導入されているが、生産調整しないと値崩れのリスクあり。
- 問屋の機能低下でメーカー、染織作家と小売との直接取引が増え、コストダウンやオリジナル商品の制作がより可能に。
- 伝統のきものを守りながら次世代マーケットのニーズを視野に入れた「ファッションとしてのきもの」の提案も肝要。
- 日本女性の中に潜在している「きものへの憧れ」と言うDNAをどう顕在化させていくかがこれからのきもの専門店の大きな課題。

＜きもの屋としての職業奉仕と言う使命＞

- 「和の文化」の楽しさ、素晴らしさを地元の方々にもっと身近に体感してもらうために、年間を通じて多彩なイベントを開催。「きものやゆかたで気軽に楽しむパーティー」「邦楽、寄席等伝統芸能に親しむ会」「お茶会レッスン等礼儀作法を学ぶ会」その他。
- タンスに眠っている貴重なきものをもっと気軽に楽しんで欲しい。シミ抜き、寸法直し、きもの着付無料も日々対応。
- 大切な日本の伝統文化を地域の皆さんにしっかりと伝え、奉仕を実践して行くことが、我々きものと言う職業に携る者に課せられた重要なミッション。

担当：長野賢太郎

■ニコニコBOX

本日合計¥

39,000

累計¥595,000

宝子山君…夏に逆戻り？10月に入ったのにちょっと暑いです。

石田君…もう10月！10月職業奉仕月間です。

岡本君…ロータリー衣替えの時季となりました。

市川君、矢部(房)君、山本(由)君、大野君、葉山君、手島君
 …宝子山さん、卓話楽しみ、よろしくお願いします。

臼井君…宝子山さん、卓話に期待します。

矢部(光)君…着物は日本の文化 **こよひ逢ふ人皆美しき**
 みだれ髪より

藤吉君…ビーチバレーよろしくお願いします。

葉山君…バレー大会の成功を願います。

松井君…今月の地区大会、多くの参加をお待ちしています。

桐田君…次週例会終了後職業奉仕委員会を開催。出席宜しく。

村松君…台風一過蒸し暑い。卓話楽しみ。

川上君…まだ暑いですね。宝子山さん卓話よろしく。

長野君…暑いですね。衣替えがなかなか出来ません。

高洲さん…今日は秋晴れ！卓話楽しみにまいりました。

桐ヶ谷君…秋です！

橘(克)君…久しぶりに気持ちの良い日々です。

毛利君…逗子の海岸がきれいになりました。

鈴木(安)君…いよいよゴルフシーズン、ただいま絶好調。

福嶋君…女子ゴルフもしかしてチラッと見えるかな？

三宅君、山口君…お疲れの多い毎日。東京スカイツリーから見た虹は感動ものでした。

安藤君…昨夜は森元総理を迎えてすばらしい発会式でした。

草柳君…昨日は伊勢神宮「式年遷宮」。逗子・葉山久しぶりに大きな虹を見ました。ロータリーに幸あれ。